

経済政策論 B

—経済成長理論入門 パート (3)—

山田知明

明治大学

2024 年度講義スライド (3)

経済政策の役割

- 新古典派経済成長モデルに基づく経済成長を促進するための方法
 1. 貯蓄 ⇒ 物的資本蓄積
 2. 人口成長 & 人的資本蓄積
 3. 技術進歩率

技術進歩を促す

- TFP は成長の源泉であり、90年代の停滞の原因
 - TFP って何?
 - 世界経済は数十年間、持続的に成長
 - 資本、労働の投入だけでは成長は止まる
 - 技術進歩なしには説明できない
 - 小さな発明から蒸気機関、電気、コンピュータまで
- 研究開発 (Research and Development) を促進する
 - 企業、国の研究開発費
 - 特許保護の期間、商標権の保護 etc.
 - イノベーション
 - 創造的破壊 (Creative Destruction) by Schumpeter ⇒ 例：ラッダイト運動
 - Aghion et al. "The Power of Creative Destruction," Belknap Harvard.
 - 産業政策

技術進歩を促す (続き)

- アイディア (知識資本) の重要性
 - 技術的外部性 (Technological Externality) が存在
 - 先進国と発展途上国は事情が異なる
 - グローバル化とスピルオーバー
- 競争と経済成長

資本蓄積を促す

- 投資率 (=貯蓄率) が高い途上国は成長率も高い
 - 近年の中国 (50% 超?)
 - 過剰蓄積による動学的非効率性の問題あり
- 貯蓄率を高める政策の例
 - かつて日本では郵貯による優遇を行っていた
 - 東南アジアの国の一部で強制貯蓄を行う国も
- 対外直接投資 (外国人の貯蓄 = 投資)
 - 外資を引きつける

人的資本投資：教育の経済学

- 労働投入を増やす
 - 移民や少子化対策 (経済成長だけの問題ではないが)
- 教育の役割
 - 人的資本を高める役割
 - 教育は本当に所得稼得能力を高めている？
 - 教育費の高騰と奨学金の役割
 - 発展途上国：識字率、高等教育の割合 etc.
 - ラーニング・バイ・ドゥーイング

経済成長の大前提

1. 制度の役割

- 財産権 & 知的財産権
 - 例：墾田永年私財法
- 植民地支配からの解放

2. 地理的条件

3. 民主主義と経済成長